

鹿島地区四月の飼料生産量実績三二万五、八〇〇トン

茨城県鹿島地区の配合飼料製造会社並びに飼料工場における、平成二十五年四月の配合飼料及び混合飼料の生産量実績は、地区合計で三二万五、八〇〇トン、対前年同月比一〇一・九%と前年に比べ増加した。これについて、会社・工場別には次の通りである。

対前年同月比では、清水港飼料㈱、日清丸紅飼料㈱、平成飼料㈱等がかなり増加したとともに、東日本くみあい飼料㈱、中部飼料㈱、鹿島飼料㈱等が増加した。

(単位=トン)

会社・工場	平成25年4月	平成24年4月	前年比
東日本くみあい飼料㈱	41,600	40,000	104.0%
中部飼料㈱	34,500	33,500	103.0%
協同飼料㈱	41,000	42,500	96.5%
日清丸紅飼料㈱	37,200	35,100	106.0%
鹿島飼料㈱	50,700	49,200	103.0%
平成飼料㈱	14,100	13,300	106.0%
明治飼糧㈱	13,100	13,000	100.8%
㈱ジャパンフィード	42,400	43,900	96.6%
清水港飼料㈱	27,100	25,100	108.0%
全酪連	9,900	10,200	97.1%
雪印種苗㈱	14,200	14,300	99.3%
合計	325,800	320,100	101.8%

TOKYO X協会平成25年度定例総会四号議案承認

TOKYO X-Association (会長 ㈱ミートロンパニオン植村光一郎 常務執行役員) は五月九日、午後三時より、東京都八王子・㈱京王プラザホテル八王子において、平成二十五年定例総会を開催した。

平成二十五年定例総会では、植村会長のあいさつ。公益財団法人東京都農林水産振興財団高橋慎一事業課長の来賓あいさつの後、議案の審議が行われた。議案の審議では、事務局より提出された①平成二十四年度事業報告、②平成二十五年事業計画(案)及び収支予算(案)、③役員改選、④その他の一〇四号議案について行われ、原案通り承認された。

議案の審議終了後、記念講演が行われた。記念講演は、農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課富田育稔食肉需給対策室長より「食肉需給をめぐる情勢と攻めの畜産」と題して行われた。

T O K Y O X 協会会長に植村氏、副会長に糸瀬氏

TOKYO X-Association は別項のように開催した、平成二十五年度定例総会において、役員の改選が行われた。それにより選任された役員は次の通りである。(敬称略)

◎ 会長 植村光一郎・(株)ミートコンパニオン常務執行役員。

◎ 副会長 糸瀬好弘・(株)三越伊勢丹フードサービス取締役製造部長。

◎ 理事 ▽ 中村敏章・(株)人形町今半精肉惣菜部課長。▽ 佐藤浩一・(株)京王プラザホテル八王子事業部総料理長。▽ 小林和人・(株)大多摩ハム小林商会代表取締役社長。▽ 北村陽三・(株)セントラルフーズ生産統括部原料部部长。

◎ 監事 林 実・合同会社西友食品二郎畜産担当ダイレクター。

◎ 幹事・書記長 大根田 豊・(株)ミートコンパニオンミートパッカー部部长。

◎ 幹事・書記 ▽ 荒川政信・(株)ミートコンパニオンプレミアムポーク課課長。▽ 小石隆二・(株)日本カイハツミート製造課ポーク課長。

T O K Y O X 協会平成二十五年度事業計画の骨子

TOKYO X-Association は別項のように、平成二十五年度定例総会を開催し、平成二十五年度の事業計画を承認した。

平成二十五年度の事業計画によると、骨子として、①共同生産出荷に関する協議の開催。②流通、販売等の検討及び実施。③枝肉目合わせ会の実施。④トレーサビリティ検討委員会の開催。⑤積極的な認知活動の実施。⑥TOKYO Xを通しての食育事業への参加。⑦TOKYO Xを通してのアグリネイチャー事業への参加。⑧地産地消支援事業への参加。⑨TOKYO X格付け検討委員会の開催。⑩生産拡大委員会の開催。⑪農場HACCP研究会への参加。これらのことが計画された。